

第 16 期 通訳プロ養成講座 シラバス

通訳入門・ベーシック 1&2 レベル

Instructor Kenneth Levin

**Date &
Time**

1 : 2024 年 7 月 19 日 (20 日) ~2024 年 9 月 27 日 (28 日) 予定
2 : 2024 年 10 月 11 日 (12 日) ~2024 年 12 月 20 日 (21 日) 予定
米西海岸時間 (PDT) 金 6:00 PM~8:00PM (日本時間 土 10:00 AM~12:00 PM)
約 3 か月間 隔週 2 時間/120 分 全 6 回ずつ

※ 日付は米時間と () 内に日本時間を表示しています。

※ 米夏時間終了後は、時間調整が必要になります。

Introduction:

通訳プロ養成講座 通訳入門講座では、通訳の初心者を対象に基本的な通訳技術のトレーニング法を学びながら、各自の語学レベルを向上させ、人前で話したり通訳する環境に徐々に慣れながら自信をつけていきます。プロになるための本格的な会議通訳トレーニングを始める前の準備ステップとして最適です。

Course Objectives:

英語と日本語のスピーキングとリスニングのスキル、集中力と記憶力の向上を中心に取り組みます。各セッション毎にテーマを決め、シャドーイング、リテンション、リプロダクション、クイックレスポンス、ノートテキング、サイトトランスレーション、アクティブリスニングなど基本的な通訳訓練法を学びます。授業では、受講生間で逐次通訳のロールプレイをしたり、簡単なスピーチの動画を使って基本的な逐次通訳ができるまで演習を行います。また、通訳スキルや語学力の向上に役立つ書籍やウェブサイトなどを始め、技術習得のコツや効果的な学習方法を伝授します。

Required Materials:

PC (Wifi あるいは有線 LAN 接続)、ヘッドセット (マイク付のタイプ)、筆記用具、辞書 (オンライン辞書または電子辞書)、ChatGPT (AI チャットサービス <https://chat.openai.com/>)、テキスト音声変換ツール (<https://ttsmaker.com/>)

* 授業や宿題の内容によっては、スマートフォンやボイスレコーダーなど、もう1台録音や再生ができるデバイスが必要になります。

Required Tools & Benefits:

- Zoom アカウント（毎回の授業は Zoom ウェブ会議システムを用いて実施、復習用に録画リンクを配布） <https://zoom.us/zoomrooms/software>
- Slack アカウント（授業関連のコミュニケーション用にグループチャットを使用。例えば、受講生と講師およびスタッフとの業務連絡、スケジュールの確認と調整、ホームワーク出題等。）
<https://www.slack.com>
- Facebook 非公開グループへのアクセス（通訳関連の情報交換、EJ EXPERT からのお知らせ、受講生からの質問や相談などができるコミュニティで受講生のみが参加可能）
<https://www.facebook.com/groups/1370136739737880/>「会議通訳トレーニング講座&ワークショップ」
- プロ養成講座カリキュラムのページへのアクセス <http://www.ejexpert.com/blank-2>

Homework Assignment:

毎回のセッション終了後にはホームワークが出題されます。ホームワークの課題は授業で演習しますので必ず完了させるようにしてください。また、各セッション終了後は必ず動画を観て自分のパフォーマンスを確認し、授業で学んだことを復習するようにしてください。

Sequence of Topics:

Session	Main Topic※
<1> LESSON 1	コースの概要 講師と受講生の自己紹介 このコースの概要、目標、内容、およびコースを最大限活用する方法の紹介。また、通訳の哲学と技術における基本ポイントを演習問題形式で解説します。
LESSON 2	英語力強化 英訳に必要な基本の作業（自然な英文の骨組みを作る等）、英訳のコツを押さえるための勉強法、動詞の予想、時制によって動詞の活用、単数・複数の区別、日本語特有の言い回しや特有の癖の取り扱い等
LESSON 3	逐次通訳の基本訓練 part I シャドーイング、ノート・テイキング等 実際の演習により逐次通訳の基礎的能力を習得し応用できる実践力を身につけます。
LESSON 4	逐次通訳の基本訓練 part II リテンション・リプロダクション、アクティブリスニング等 実際の演習により逐次通訳の基礎的能力を習得し応用できる実践力を身につけます。
LESSON 5	同時通訳の基本訓練 part I 要約、パラフレーズ、サイトトランスレーション等 実際の演習により同時通訳の基礎的能力を習得し応用できる実践力を身につけます。
LESSON 6	同時通訳の基本訓練 part II 注意配分・選択的注意、クイック・レスポンス（即訳）等 実際の演習により同時通訳の基礎的能力を習得し応用できる実践力を身につけます。

<2> LESSON 7 逐次通訳 クラス全員の課題

受講生全員は事前に与えられたテーマの背景知識を調べたり単語の対訳表を作ったり準備勉強しておいて、授業中に日英/ 英日逐次通訳を一人ひとり行います。教師やクラスメートのフィードバックをもとに、各自はコース前半で身につけたスキルを活かせるかどうかを確認します。

LESSON 8 逐次通訳 個人の課題

各自が興味を持つ課題に関する題材（動画や音声ファイル）を自習して、授業中に日英/ 英日逐次通訳を一人ひとり行います。受講生自身が設定した内容を相互に教え合う仲間学習（Peer Teaching）でクラスメートの選んだ課題の内容も自分で高精度に通訳できる様に練習します。

LESSON 9 逐次通訳 個人の課題

各自が興味を持つ課題に関する題材（動画や音声ファイル）を自習して、授業中に日英/ 英日逐次通訳を一人ひとり行います。受講生自身が設定した内容を相互に教え合う仲間学習（Peer Teaching）でクラスメートの選んだ課題の内容も自分で高精度に通訳できる様に練習します。

LESSON 10 同時通訳 クラス全員の課題

受講生全員は事前に与えられたテーマの背景知識を調べたり単語の対訳表を作ったり準備勉強しておいて、授業中に日英/ 英日同時通訳を一人ひとり行います。教師やクラスメートのフィードバックをもとに、各自はコース前半で身につけたスキルを活かせるかどうかを確認します。

LESSON 11 同時通訳 個人の課題

各自が興味を持つ課題に関する題材（動画や音声ファイル）を自習して、授業中に日英/ 英日同時通訳を一人ひとり行います。受講生自身が設定した内容を相互に教え合う仲間学習（Peer Teaching）でクラスメートの選んだ課題の内容も自分で高精度に通訳できる様に練習します。

LESSON 12 理論化できない職人芸の業界

通訳しづらい、訳せそうで訳せない、の対策法

地名、人名、固有名詞、数字、肩書き、ユーモラスな表現、隠喩的表現など Tricky なものの取り扱い 通訳のビジネス: 通訳者の仕事内容、なるための方法、キャリア形成、将来性等を紹介します。

※メインピックの他にウォーミングアップの初見通訳やシャドーイングも行うことがあります。トピックは変更になる場合があります。

EOD Student Evaluation Form:

ターム終了後には、講師から各受講生に個別評価フォームが提供されます。各スキルの評価、進級レベルの推薦、今後の強化・改善点のアドバイスが含まれます。